

図書館インフォメーション

◆図書館カレンダー

2012年 12月							2013年 1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5						1	2						1	2
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31			24	25	26	27	28			24	25	26	27	28	29	30
30	31																										

○2日、9日、16日、23日～26日は休日開館します！

○6日、13日、14日は休日開館します！

開館時間：無印 本館・生田分館 月～金 9：00～21：00 土 9：00～19：00
 神田分館 月～土 9：00～22：00
 ◆印 本館・生田分館 月～金 9：00～17：00 土 9：00～12：00
 神田分館 月～土 9：00～20：00
 休日開館：○印 本館・神田分館 10：00～17：00（生田分館は休館）
 休館日：■全館休館 A 本館・生田分館休館 B 本館・神田分館休館 C 神田分館休館

・開館時間の変更および臨時の開館日・休館日は、その都度ホームページや掲示で案内します。
 ・法科大学院分館の開館情報は「専修大学図書館カレンダー（法科大学院分館）」をご覧ください。

◆お知らせ

■冬期・春期特別貸出

	冬 期	春 期
取扱期間	平成24年12月1日(土)～12月21日(金)	平成25年1月21日(月)～3月19日(火)
貸出対象者	学部学生 (聴講生、科目等履修生を含む)	学部学生 (聴講生、科目等履修生を除く)
冊数	10冊まで(通常の貸出冊数と同じ)	
返却期限日	平成25年1月11日(金)	平成25年4月8日(月)

■日曜日・祝日、年末年始開館します！

実施館：本館（AVプラザを除く）・神田分館
 開館日：平成24年12月2日(日)、9日(日)、16日(日)、23日(日)～26日(水)
 平成25年1月6日(日)、13日(日)、14日(月)
 開館時間：10：00～17：00

■教員推薦図書の利用について

平成24年12月1日(土)～平成25年1月31日(木)は、学部後期試験にともない学部学生対象教員推薦図書(本館・神田分館)の特別貸出を停止します。館内でご利用ください。

■卒業生・大学院修了年次生の皆さんへ

*卒業生・大学院修了年次生の返却期限日は次のとおりです。
返却期限日：平成25年3月1日(金)
 本の返却を忘れていませんか？毎年、図書を借りたまま卒業する利用者があり、在校生が大変困っています。返却は、郵送でも受付けます。紛失、問合せ等はカウンターに確認してください。
 *卒業後も図書館を利用できます！
 年間利用を希望する場合は、図書館利用カードを発行します。卒業後、ご来館時に図書館カウンターにお申し込みください。
 館外貸出は、5冊、20日間までです。

■本館 4階がますます便利に！「グループ学習コーナー」
 本館4階AVプラザに、新しく「グループ学習コーナー」ができました。図書館資料やパソコンを持ち込んで、ゼミナールの打ち合わせや勉強会、読書会ができるコーナーです。簡易ホワイトボードを活用してグループ討論やプレゼンの準備をすることもできます。



Cover Girl

文学部
英語英米文学科4年
山中爽加さん

ひとこと：
集中して勉強できるのでよく図書館を利用しています。

図書館では、利用者の個人情報を本人の同意なく第三者に提供することはありません。

専修大学図書館だより 第78号

発行日：2012年12月1日
 編集・発行：専修大学図書館（館長 大庭 健）
 〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1
 Tel.044-911-1274 URL: <http://www.senshu-u.ac.jp/libif/lib.html>



専修大学 図書館だより

Contents

- ▶ 4 特集1 神田分館フロア案内
- ▶ 6 特集2 体験しました！
図書館の仕事
- ▶ 2 巻頭エッセイ
鎖に繋がれた本
- ▶ 3 シリーズ ムーサの神殿 資料紹介
日経BP社オンライン記事データベース
を活用しよう！
- ▶ 8 図書館インフォメーション

鎖に繋がれた本

法学部教授 図書館委員会委員 小野 新



紙を知らなかった時代、文字は粘土板、甲骨、木簡・竹簡に書かれた。古代エジプトやギリシャでは、パピルスという植物の茎の表皮を並べてシート状にしたものを使ったが、いずれも「本」のイメージからほど遠い。

中世ヨーロッパでは紙の代わりに獣皮が使われた。羊や仔牛、山羊の皮を薄く鞣して使った。これらを一般に parchment と呼ぶが、仔牛の皮から作られたものは vellum とする。6世紀のイタリアの修道士たちが文字の書かれた羊皮紙を紐で綴り、重ねて一冊にしたが、これがどうやら今日の本の原型らしい。

羊皮紙は作るのに手間がかかり高価であり、印刷技術がなかった時代には本は筆写で作られていたから、貴重な物であった。そこで、中世ヨーロッパでは、図書館の本を紛失や盗難から守るため、本を書見台や書棚に鎖で繋いでおくということが行われた。鎖の長さの範囲でしか広げて読むことができない。14世紀前半のフランス、ソルボンヌ大学図書館には「各部門の最も貴重な本は鎖に繋ぐこと」との規程があったという話をどこかで読んだことがある。

鎖で繋がれた本はヨーロッパの多くの図書館に見られたが、15世紀半ばの活版印刷の発明、製紙技術の発展により本の価格が下がるにつれて次第に廃れた。イギリスでは19世紀に至るまで残り、現在でもいくつかの図書館にその例を見ることができる。映画の「ハリー・ポッターと賢者の石」で、ポッターが魔法学校図書館の生徒立入禁止区域に忍び込むシーンがあるが、その一部の本は鎖に繋がれていた（撮影はオックスフォード大学ボード

リアン図書館内のデューク・ハンフリーズ図書館）。しかし、その中で一番有名なのが、イングランド中西部の古都ヘリフォード Hereford にある大聖堂の図書館である。20年前の在外研究中、同大聖堂にある中世の世界地図マッパ・ムンディ Mappa Mundi を見に行ったついでに、図書館の方も見てきた。200冊以上の古写本を含む1500冊余りの本が所蔵されており、それらは鎖で書架に繋がれていた。面白いことに、鎖は本の厚表紙の小口側上部に付けられていたもので、書架に並ぶ本は背ではなく小口を手前にしていた。これでは書名が分からないと思われるかも知れないが、書架の端に目録があり、どの書架の何番目にはどんな本が置かれているかが分かる。本の手入れは大変で一冊一冊職員が埃を拭うが、毎年その季節になるとニュースで取り上げられていた。

本は紙にインクで印刷されたものがまだ主流だが、IT技術の革新により本の形は大きく変わりつつある。電子書籍、デジタル書籍と呼ばれるものがそれで、書物の内容は電子データ化され、読者は電子機器画面にこれを表示させて読む。情報を納める物理スペースは極めて小さくすることができ、もはや図書館は広大な書庫は必要なくなり、クラウド化により全く不要となるかも知れない。本が電子データ化されていけば、古い本、絶版本なども容易に閲覧することができる。

ギリシャ神話のプロメテウスは、人間に火を与えてゼウスの怒りを買って鎖に繋がれたが、鎖を解かれた現代の本は我々にどんな火をもたらすのであろうか。



日経 BP 社オンライン記事データベースを活用しよう！

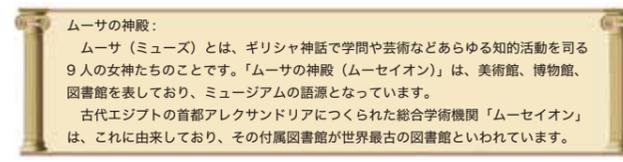
100年に一度と言われた金融危機（リーマンショック）では、日経ビジネスが2008年8月4日号でその兆候を知らせてくれた。1000年に一度と言われた東日本大震災では、日経サイエンス2011年6月号で特集を組み、地質調査の結果警鐘が鳴らされていたにも関わらず、対策を怠った人災であることを明らかにした。そして貞観地震の後に相次いで関東や東南海でも大地震が発生したことを教えてくれた。技術面では学会よりも早く、日経エレクトロニクスがユビキタスやエネルギーハーベスティングなどの新技術を紹介してくれた。日経 BP 社オンライン記事データベースは、世界の現状を把握し社会の動向を前もって知らせしてくれる貴重な情報源である。

私たちが日常生活を営む世界は、心や思考を含む**精神世界**、五感によって直接見て触ることができる**物理的実世界**、そしてコンピュータとネットワークの中にデジタルデータによって作られる**サイバー世界**から成っている。これらの世界は互いに重なり合っており、人間はこれら3つの世界と関わって日常生活を営んでいる。梅田望夫は、21世紀の新たな潮流を「**こちら側からあちら側へ**」と表現している。メールも電子書籍も、学会誌の論文も、日経 BP 記事検索サービスも、コンテンツが**こちら側**（紙媒体）から**インターネットのあちら側**（サーバー内のデジタルデータ）へ移行した、即ち**実世界からサイバー世界へ**移った結果であると観ることができる。ビジネスの上でも**クラウド化**が進んでおり、これも社会の**サイバー化**の一つの顕われである。これからの社会では、益々その流れが加速すると思われる。本学では止められぬ社会の潮流に遅れることなく、早い時期に流れに沿ってオンラインサービスの実施を推進した。

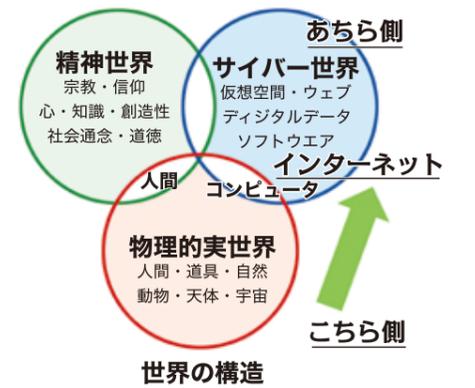


接続先などは図書館ホームページの「オンライン・データベース」の項を参照してください。

日経サイエンス 2011年6月号



ネットワーク情報学部教授 綿貫 理明

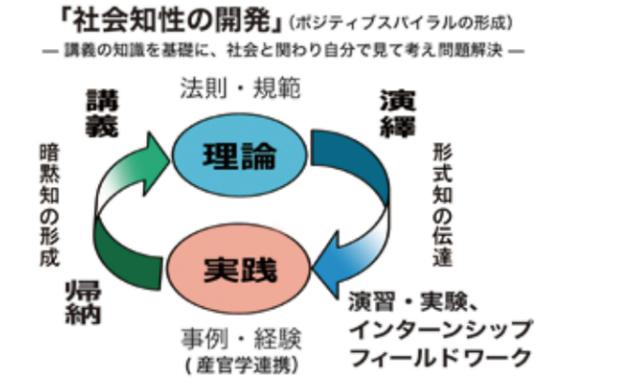


綿貫理明、「第3章 コンピュータの誕生からネットワーク社会へ」、魚田勝臣編著、『コンピュータ概論【第5版】』、共立出版、pp.44-68、2010年12月

現在、社会では CO₂ の削減や 3R 運動の実施が進められている。

本学においても**社会的責任**として、紙の消費を削減しなければならない。日経 BP 記事検索サービスでは、ウェブから必要な論文や記事のみをダウンロードして印刷することにより、結果としてトータルで紙の消費を削減し、環境保護にも貢献することになる。同時に机上や書棚の雑誌が占める占有空間を減らすこともできる。

日経 BP 社の雑誌記事は本学の教育研究の理念である「**社会知性の開発**」にも最適な教材である。学生や教員にとって高価な日経の雑誌を学内の端末で自由にダウンロードして、閲覧できるのはありがたい。当研究室でも、卒業制作やプロジェクトで日経 BP オンライン記事検索サービスを活用している。社会の動向を学び、身に付けた情報技術を社会の問題に適用する。環境問題の投稿・モニタリングサイトを情報処理学会で発表し、また自転車型人力発電機の発電量可視化システムを川崎国際環境技術展へ出展した。社会の動向に沿った意味のある明確な成果を出し、結果として就職や大学院進学にも大いに役立った。



神田分館では、春期および夏期休暇中に改修工事が行われ、1階と地下1階の一部がリニューアルされました。グループで学習できるエリアやAV・PC ラウンジの新設、照度の大幅な改善が行われ、カウンター、ブラウジングコーナー(旧軽読書コーナー)などが刷新され明るい雰囲気生まれ変わりました。リニューアルしたところを中心に神田分館の全フロアをご紹介します。

1階

- ① 入館ゲート
- ② カウンター
- ③ 開架閲覧室
- ④ グループ学習エリア 1
- ⑤ PC コーナー
- ⑥ OPAC
- ⑦ ブラウジングコーナー
- ⑧ 展示コーナー
- ⑨ コピー機
- ⑩ 図書課事務室

① 入館ゲート

改修にともない入館ゲートの位置が変わりました。図書館を利用する際は、入館のためのカード(学生証・教職員証・図書館利用カード)がブラウジングコーナーの利用にも必要になりました。入館カードを持参していない方はカウンターにお声掛けください。

② カウンター



貸出・返却の他、図書館の利用方法、資料の探し方などについて相談を受け付けています。質問がありましたら、気軽にカウンターにお尋ねください。

④ グループ学習エリア 1



グループ学習が可能なエリアです。テーブル、椅子をグループの人数に合わせて移動して利用することができます。ホワイトボードも自由にお使いください。



⑦ ブラウジングコーナー



新聞や一般雑誌を読むことができます。

③ 開架閲覧室

主に政治・法律・経済学分野の和図書と参考図書(和)などがあります。

⑤ PC コーナー



情報検索やレポート作成ができます。利用はカウンターに申し込んでください。

⑧ 展示コーナー



展示コーナーも新しくなりました。これからいろいろな展示を行う予定です。

地下1階

- ⑪ 自由閲覧室 1
- ⑫ 自由閲覧室 2
- ⑬ 文庫・新書判図書
- ⑭ 教員著作物案内
- ⑮ グループ学習エリア 2
- ⑯ AV・PC ラウンジ
- ⑰ コピー機
- ⑱ OPAC
- ⑲ 館長室
- ⑳ マイクロ資料室
- ⑪⑫ 自由閲覧室 1・2
- ⑬ 文庫・新書判図書、⑭ 教員著作物案内

自由閲覧室 1・2 は自習室です。自由閲覧室 1 には文庫・新書判図書、自由閲覧室 2 には本学教員著作物案内のコーナーがあります。

※地下 1 階の自由閲覧室 1・2 およびグループ学習エリア 2 (AV・PC ラウンジ 除く) は、飲み物(蓋の閉まるもの)を持ち込むことができます。



⑮ グループ学習エリア 2



グループ学習が可能なエリアです。可動式の机・椅子、ホワイトボードが備えられています。大声を出さないことなど、他のグループへの配慮も忘れずにご利用ください。

⑯ AV・PC ラウンジ

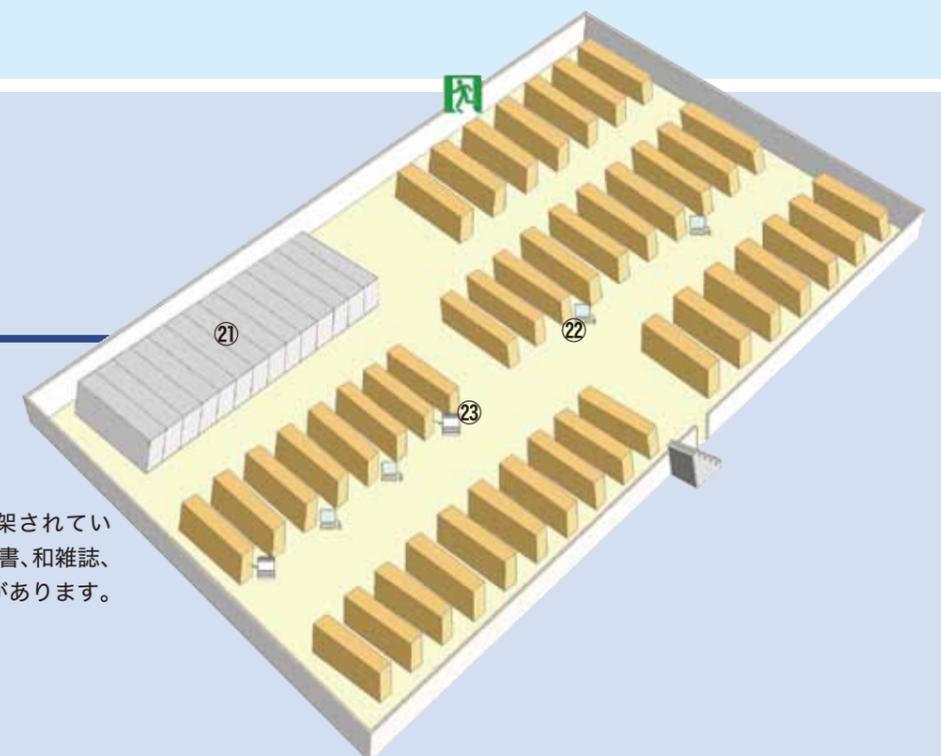


PC 席では 1 階 PC コーナーと同様に情報検索やレポート作成ができます。AV 席では DVD の視聴が可能です。

地下2階

- ㉑ 電動書架
- ㉒ OPAC
- ㉓ コピー機

書庫には、開架閲覧室に配架されている以外の分野の和図書、洋図書、和雑誌、洋雑誌、法令・判例集などがあります。



特集 2 体験しました！図書館の仕事 — 司書資格取得を目指す2名の学生さんが図書館実習に来ました。

全体スケジュール

	AM	PM
10/15 (月)	オリエンテーション 図書館見学	利用サービス業務 利用相談、相互協力
10/16 (火)	利用サービス業務	利用サービス業務
10/17 (水)	利用サービス業務 貸出・返却カウンター	利用サービス業務 情報検索サービス
10/18 (木)	受入業務 重複調査、発注	受入業務 選書
10/19 (金)	整理業務 (雑誌)	整理業務 (図書)

図書館実習は、講義とは異なり実際に就業体験することで図書館の仕事を理解してもらおうものです。

5日間で一通りの実務を体験してもらいました。

ある1日のすけじゅーる

◆ 利用サービス業務編 (10/16)

9:00~



緊張したあ

見学案内業務：見学実習体験！

11:00~



早く正確に！

カウンター業務：本の返却処理にチャレンジ

13:30~



ムズかしい

展示業務：新着図書案内を任された！

15:50~



よい運動♪

書架点検と本の配架

◆ 整理業務編 (10/19)

9:00~



間違えそう

雑誌チェックイン業務：和雑誌・洋雑誌の登録

11:00~



まるで図工の授業だ！！

仮製本業務：仮製本機を使って簡易製本にチャレンジ

13:30~



責任重大だ！

図書データの登録と資料の装備

わくわく

16:00~



貴重な本が置いてある特別書庫の掃除と見学



法学部法律学科4年
鈴木 菜海

司書課程をとった動機

私が司書課程をとるに至った背景には、1年次に本学の学生部セミナーでお邪魔したイエール大学での図書館体験があります。そこで出会ったのが、学問の場である大学の中心に位置する図書館にて資料に精通し資料を通してあらゆる知識を提供する司書という専門家でした。また、図書館の中立性に惹かれたこともあり、将来は図書館でプロフェッショナルとして働きたいと考え司書資格を取得しようと決意しました。

私のおすすめ本



『神無き月十番目の夜』
飯嶋和一著
小学館
生田分館所蔵
X/080/Sh95/Iij

江戸時代の幕開けのとき、合理的な統治の為に郷土の神や風習そして誇りを蔑ろにされた土豪たちが反旗を翻した。実際にあった事件を元に書かれた時代小説。

作られた物語だとは思えないほどの臨場感あふれた作品。物語としてはもちろん、統治する者と土地に生きる者の対立や、村の中の戦場を知る長老たちと若く血気盛んな若衆の対立などは現代と繋がる部分もあり考えさせられる作品。



文学部人文学科
哲学生人間学専攻4年
吉田 光太郎

司書課程をとった動機

国語の教師だった母の影響で、それなりに本が好きだったというのももちろんありましたし、中学高校と図書委員をやっていて漠然と図書館での仕事に興味を持っていました。なにか文学系ならではの資格を取ってみたいかたというのもあり、だったら司書がいいんじゃないかなと思いました。以前に僕の祖父が大学司書の仕事をしていたという話を聞いたのもちょっと関係があるかもしれません。

私のおすすめ本



『火曜クラブ』
アガサ・クリスティー著
中村妙子訳
早川書房
生田分館所蔵
X/908/H46/Chr

クリスティー作品の主人公と言えばやはり名探偵ポワロが有名ですが、もう一人、ミス・マープルも忘れてはいけません。一話完結の形式で一つ一つのエピソードも短めなので、読書し馴れてない人にもお勧めです。